

9 福祉サービスについて

(1) 最近1年間に利用した福祉サービス（複数回答）

最近1年間に利用した福祉サービスは、身体障害者では「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」が最も多く29.7%、次いで「補装具費の支給・修理」が22.2%と続いている。

知的障害者では、「児童発達支援・放課後等デイサービスなど」が最も多く23.4%、次いで「移動支援・同行援護」が21.8%と続いている。

精神障害者では、「就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス」が最も多く11.5%、次いで「病院や診療所のデイケア」が10.6%と続いている。

難病患者では、「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」が最も多く11.8%、次いで「日常生活用具の給付・レンタル」が10.7%と続いている。

なお、いずれの障害でも「サービスを利用したことがない」の割合が高くなっている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	難病患者 (n=346)
ホームヘルプなどの訪問系サービス	14.0	5.2	8.1	7.5
訪問看護などの医療系サービス	6.5	1.2	6.7	6.4
短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護	5.9	12.5	4.8	2.3
障害者地域生活支援センター			9.2	
補装具費の支給・修理	22.2 (3位)	6.0		6.6
日常生活用具の給付・レンタル	11.3	2.4		10.7 (3位)
住宅設備改善費の給付	3.4	—		2.9
福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等	29.7 (2位)	12.5		11.8 (2位)
移動支援・同行援護	10.0	21.8 (3位)		3.2
訪問入浴サービス	2.3	0.4		2.9
就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス	1.8	14.5	11.5 (2位)	
グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	1.3	4.4	3.7	1.2
児童発達支援・放課後等デイサービスなど	7.0	23.4 (2位)	1.6	
日中一時支援				—
病院や診療所のデイケア			10.6 (3位)	
手話通訳者・要約筆記者の派遣	2.9	0.4		0.3
介護保険のサービス				7.2
その他	2.7	3.2	7.6	1.2
上記のサービスを利用したことがない	31.5 (1位)	24.2 (1位)	49.1 (1位)	66.8 (1位)
無回答	11.3	12.1	11.1	7.8

(注) 斜線の選択肢は、各調査で質問していない。

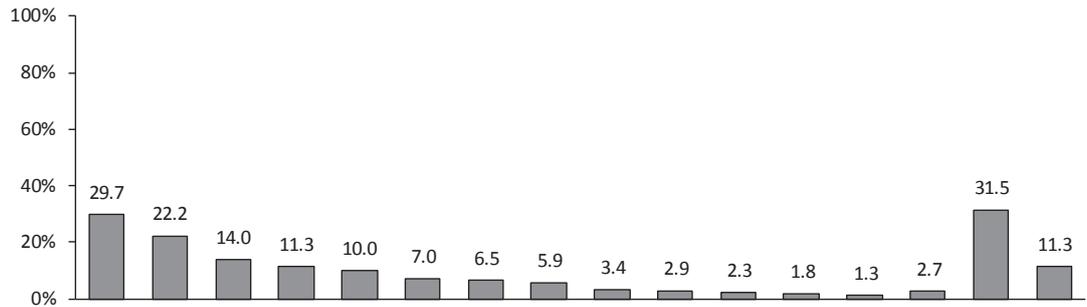
【身体障害者】

障害の程度別にみると、程度が重い人ほど各サービスの利用状況の割合が高くなっている。

障害の種類別にみると、視覚障害では「移動支援・同行援護」（15.7%）、聴覚障害では「補装具費の支給・修理」（31.5%）、「手話通訳者・要約筆記者の派遣」（17.4%）、肢体不自由（上肢、下肢等）、肢体不自由（体幹）では「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」（39.1%、45.8%）など、障害特性に応じた各福祉サービスの利用状況の割合が高くなっている。

年齢3区分別にみると、0～17歳では「補装具費の支給・修理」（45.1%）、「移動支援・同行援護」（15.3%）、「児童発達支援・放課後等デイサービスなど」（24.3%）、18～64歳では「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」（39.2%）がそれぞれ多い。

最近1年間に利用した福祉サービス



【障害の程度別】	n	サービス利用状況 (%)															
		7	4	1	5	8	12	2	3	6	13	9	10	11	14	15	16
0 全体	558	29.7	22.2	14.0	11.3	10.0	7.0	6.5	5.9	3.4	2.9	2.3	1.8	1.3	2.7	31.5	11.3
1 重度（1・2級）	307	42.7	28.3	17.6	14.0	13.7	8.8	9.1	8.8	4.2	4.2	3.3	2.6	1.0	2.6	22.1	9.8
2 中度（3・4級）	173	17.3	15.6	10.4	9.2	6.9	4.6	4.0	2.9	3.5	0.6	1.2	1.2	2.3	3.5	41.0	9.2
3 軽度（5・6級）	63	4.8	9.5	4.8	6.3	1.6	3.2	1.6	1.6	-	3.2	-	-	-	1.6	54.0	20.6

【障害の種類別】

障害の種類	n	7	4	1	5	8	12	2	3	6	13	9	10	11	14	15	16
1 視覚障害	89	31.5	14.6	19.1	11.2	15.7	3.4	5.6	3.4	2.2	-	2.2	1.1	1.1	1.1	36.0	14.6
2 聴覚障害	92	2.2	31.5	5.4	4.3	2.2	4.3	3.3	2.2	-	17.4	1.1	-	3.3	3.3	28.3	16.3
3 平衡機能障害	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	18	11.1	5.6	16.7	16.7	5.6	5.6	5.6	5.6	11.1	-	5.6	5.6	-	11.1	44.4	5.6
5 肢体不自由（上肢、下肢等）	138	39.1	34.1	19.6	16.7	15.9	11.6	10.9	12.3	3.6	-	3.6	3.6	0.7	5.1	28.3	8.0
6 肢体不自由（体幹）	48	45.8	37.5	20.8	22.9	18.8	10.4	8.3	18.8	8.3	-	4.2	4.2	-	-	20.8	8.3
7 内部障害	136	38.2	7.4	7.4	8.1	5.1	5.9	5.1	-	3.7	-	-	-	1.5	1.5	35.3	7.4
8 その他	14	28.6	28.6	7.1	7.1	-	-	7.1	-	-	-	7.1	-	-	-	42.9	14.3

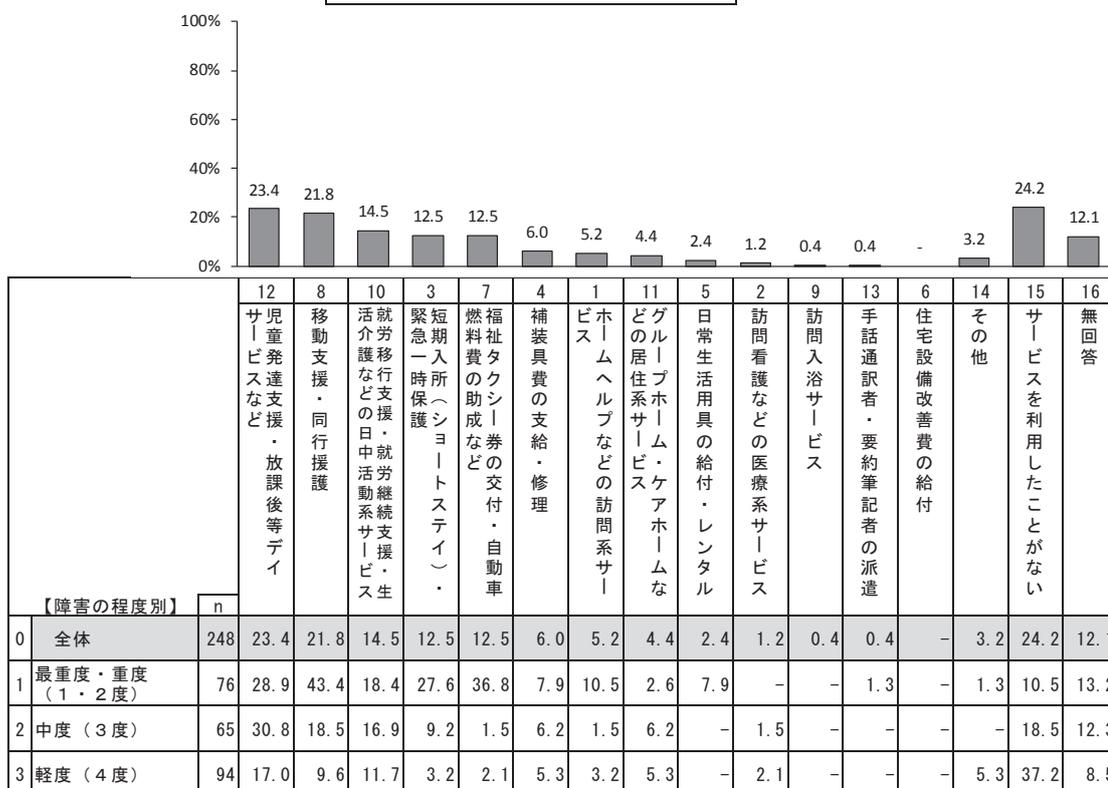
【年齢別】

年齢	n	7	4	1	5	8	12	2	3	6	13	9	10	11	14	15	16
1 0～17歳	144	30.6	45.1	11.8	9.7	15.3	24.3	9.0	10.4	2.8	2.8	2.8	0.7	-	2.1	26.4	4.2
2 18～64歳	186	39.2	18.3	11.3	8.6	10.2	1.1	3.8	4.8	1.1	4.8	1.6	4.3	-	2.7	31.2	11.3
3 65歳以上	214	22.0	11.7	17.8	15.4	7.0	0.5	7.0	4.2	6.1	0.9	2.8	0.5	3.3	3.3	35.5	15.0

【知的障害者】

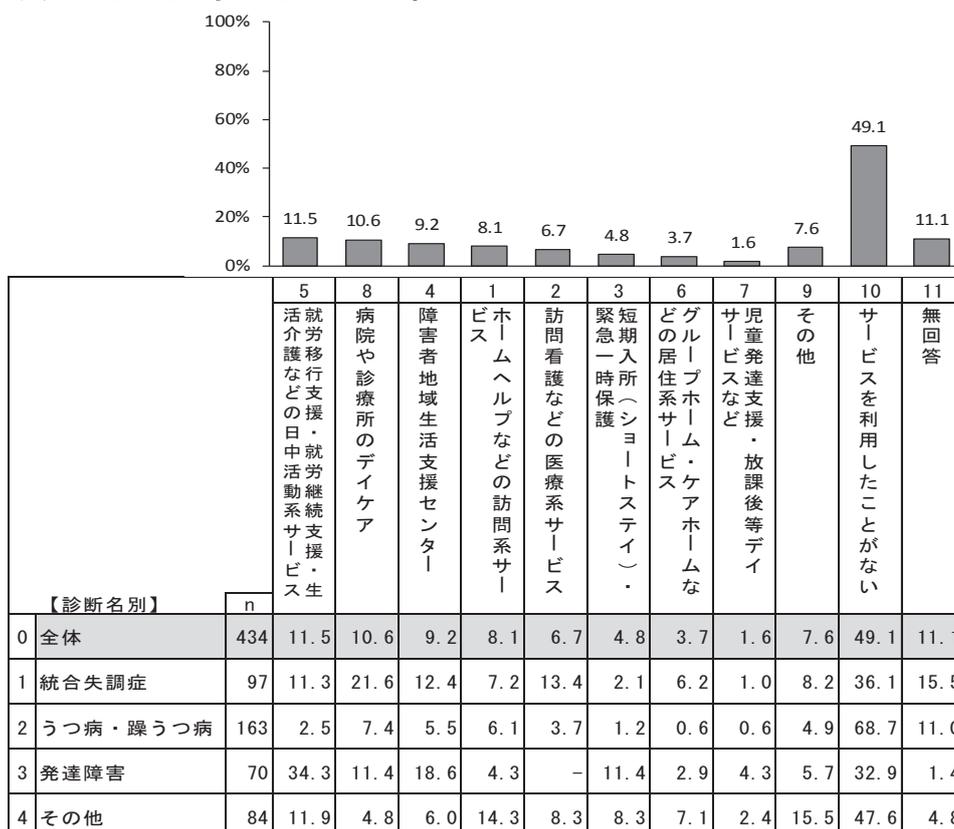
障害の程度別にみると、程度が重い人ほどサービスの利用状況の割合が高く、軽度（4度）では、「サービスを利用したことがない」が最も多く37.2%となっている。

最近1年間に利用した福祉サービス



【精神障害者】

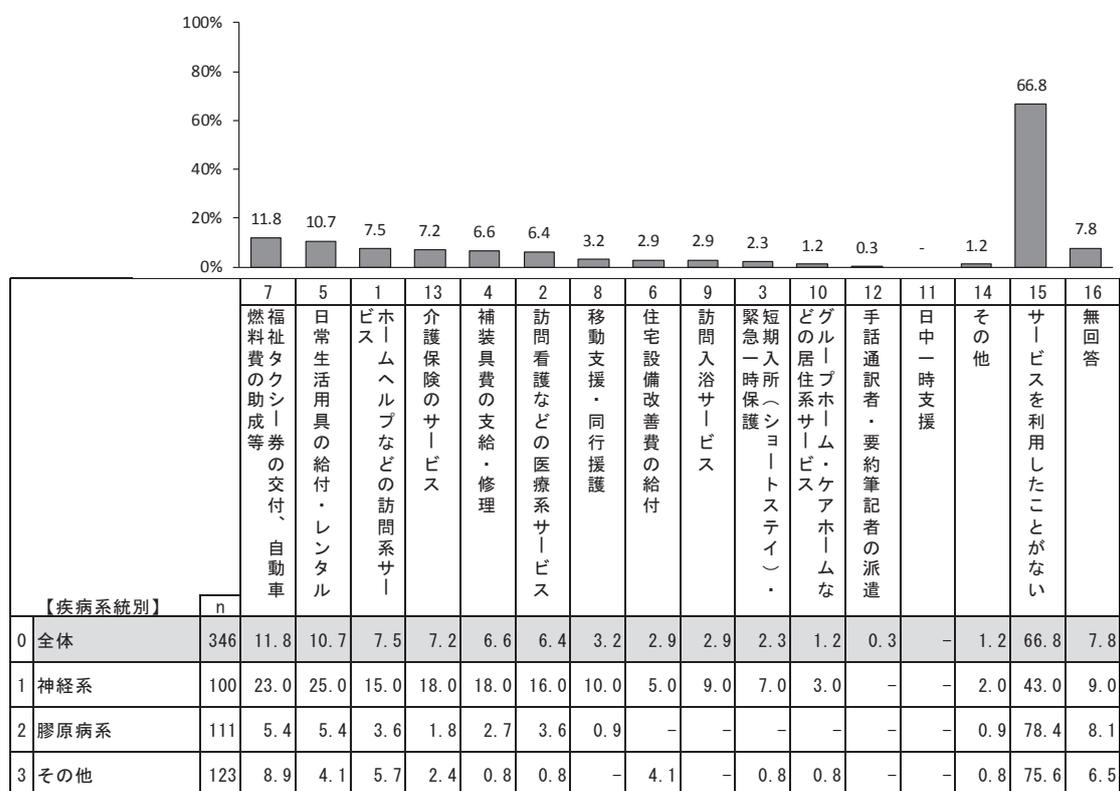
診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では「病院や診療所のデイケア」（21.6%）、発達障害と診断されている人では「就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス」（34.3%）がそれぞれ多くなっている。



【難病患者】

疾病系統別にみると、神経系では各サービスの利用割合が高くなっており、なかでも「日常生活用具の給付・レンタル」（25.0%）、「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」（23.0%）が多くなっている。これに対し、膠原病系では「サービスを利用したことがない」が多く約8割を占めている。

最近1年間に利用した福祉サービス

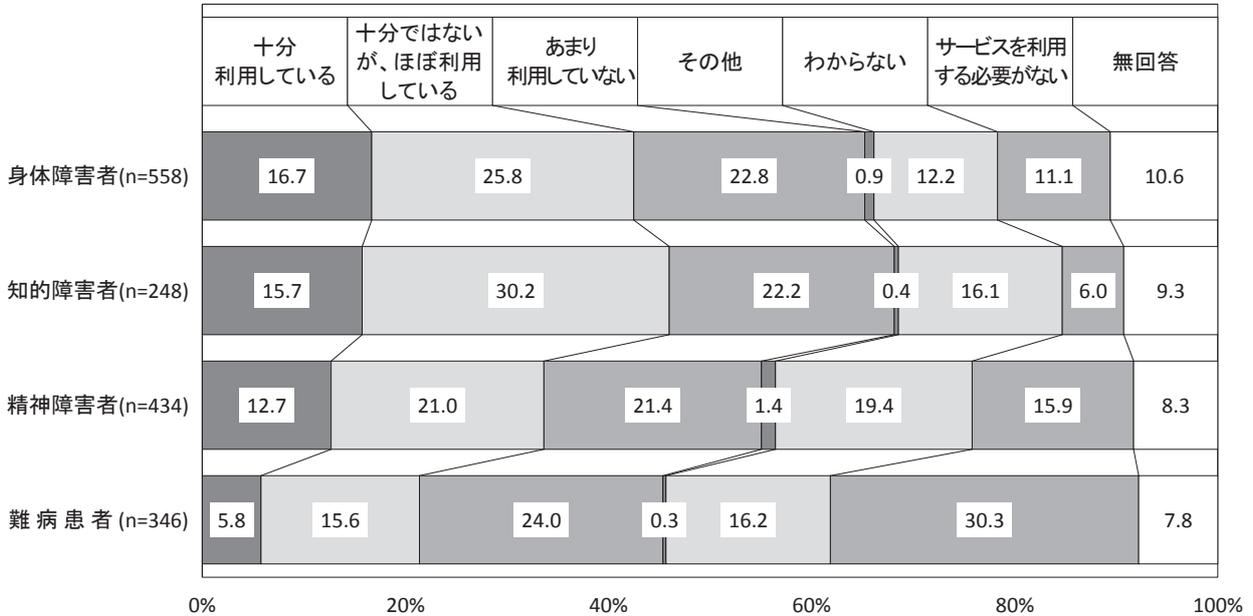


(2) 必要だと思うサービスの利用状況

① 必要だと思うサービスの利用状況

必要だと思うサービスの利用状況は、身体障害者、知的障害者、精神障害者では“利用している”人(「十分利用している」「十分ではないが、ほぼ利用している」の合計)の割合が、それぞれ42.5%、45.9%、33.7%となっている。

一方、難病患者では、“利用している”が21.4%となっている。



【前回調査との比較】

(単位: %)

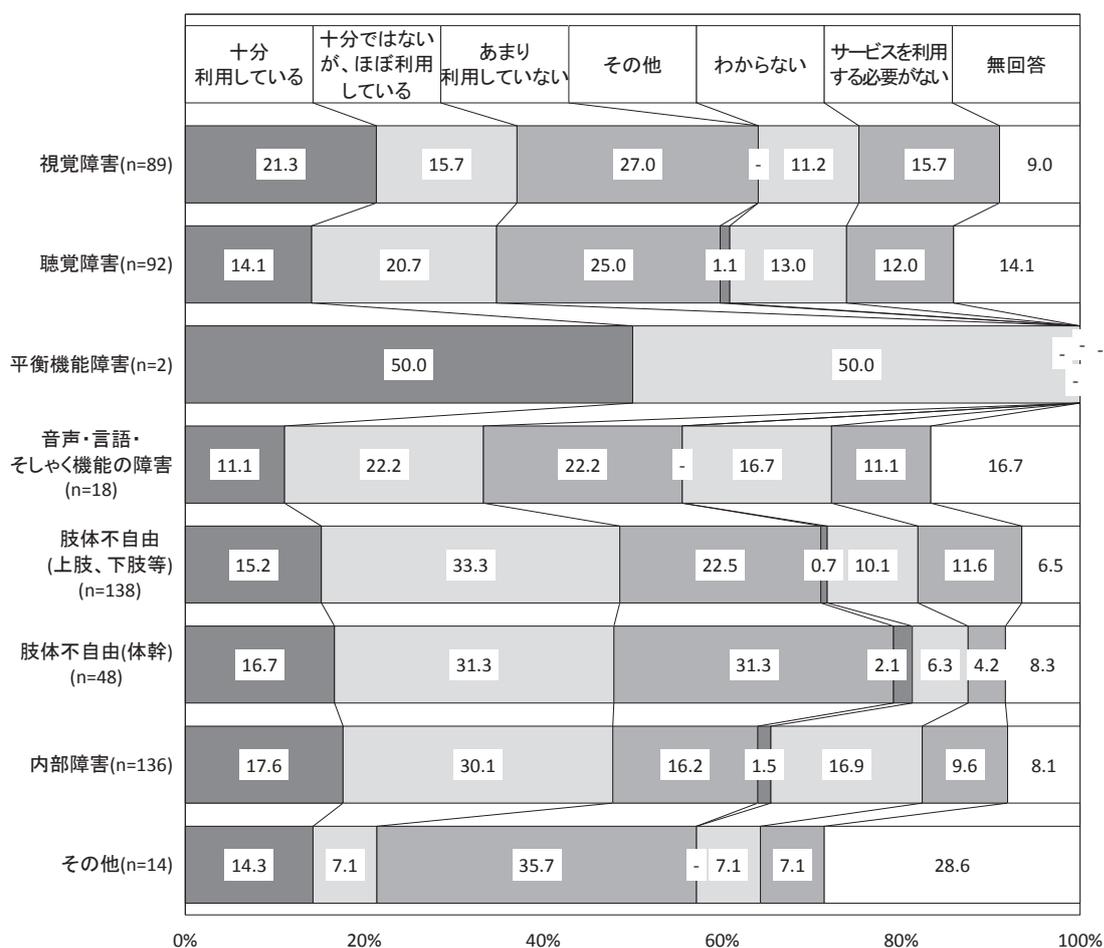
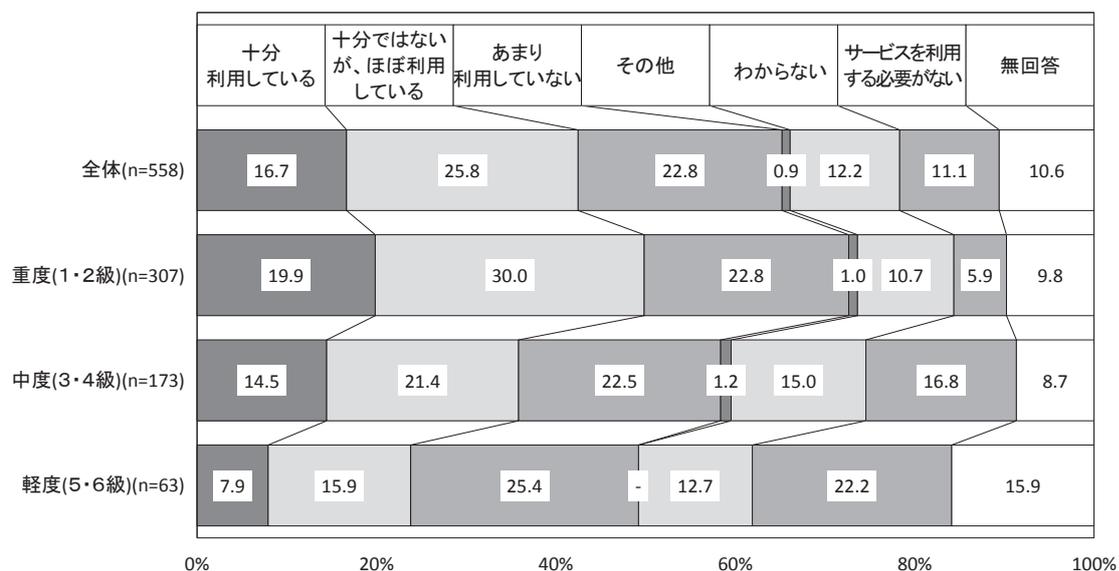
区分		1位	2位	3位
身体障害者	今回 (n=558)	十分ではないが、ほぼ利用している (25.8)	あまり利用していない (22.8)	十分利用している (16.7)
	前回 (n=2,064)	十分ではないが、ほぼ利用している (26.6)	あまり利用していない (19.6)	サービスを利用する必要がない (17.3)
知的障害者	今回 (n=248)	十分ではないが、ほぼ利用している (30.2)	あまり利用していない (22.2)	わからない (16.1)
	前回 (n=350)	十分ではないが、ほぼ利用している (30.9)	あまり利用していない (25.1)	わからない (14.0)
精神障害者	今回 (n=434)	あまり利用していない (21.4)	十分ではないが、ほぼ利用している (21.0)	わからない (19.4)
	前回 (n=311)	十分ではないが、ほぼ利用している (24.4)	あまり利用していない (24.1)	わからない (19.3)

【身体障害者】

障害の程度別にみると、重度（1・2級）の人ほど“利用している”が多く、障害程度が軽くなるにしたがって、その割合が下がっている。

障害の種類別にみると、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由（上肢、下肢等）、肢体不自由（体幹）、内部障害ともに“利用している”と回答した人が、「あまり利用していない」と回答した人より多くなっている。

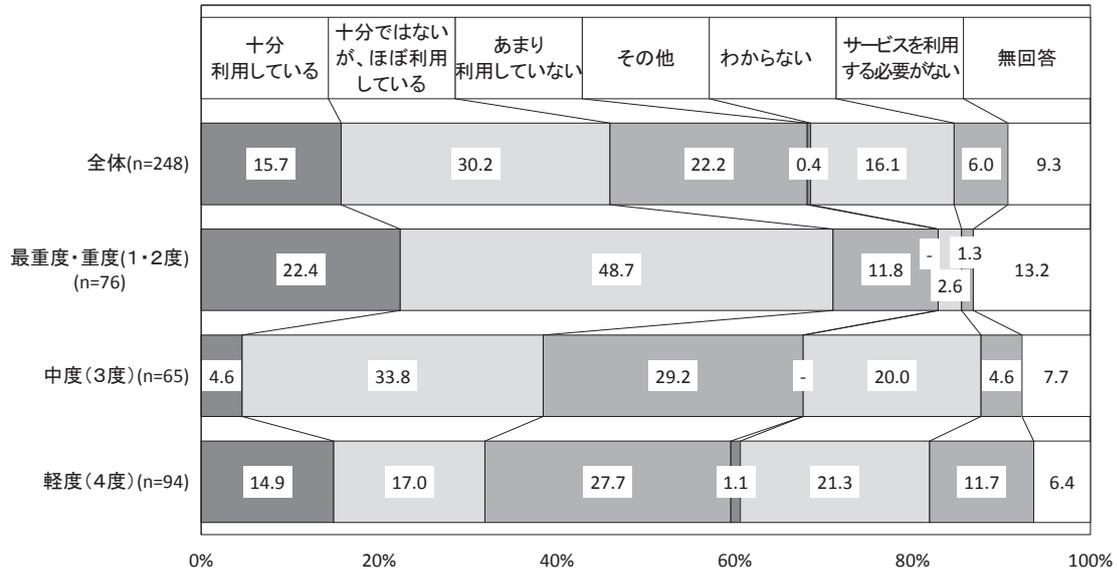
サービスの利用状況



【知的障害者】

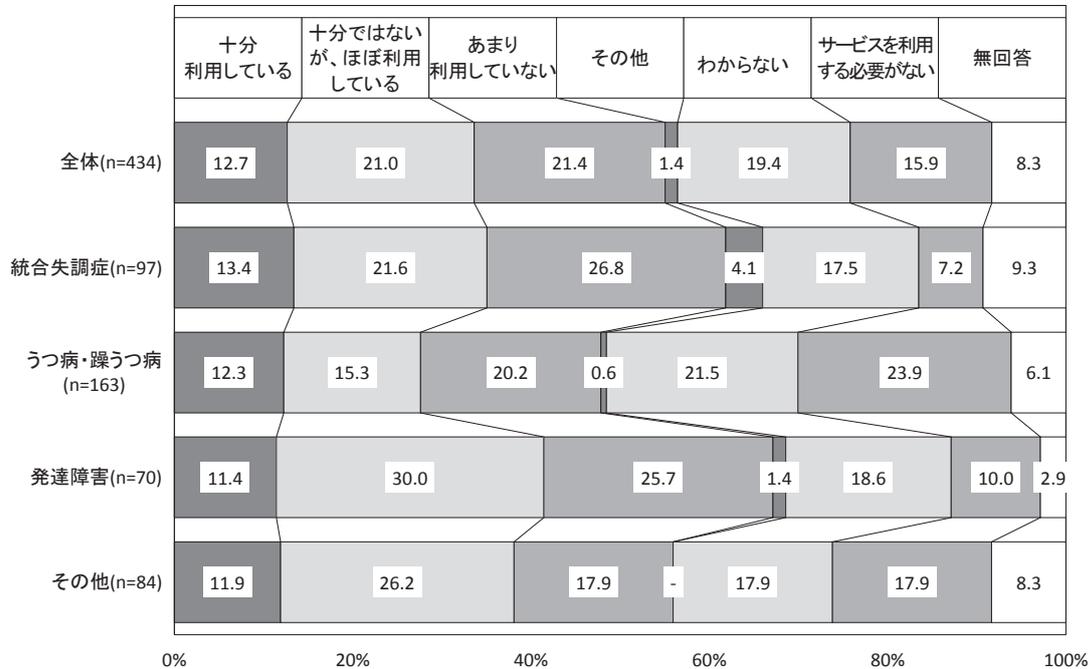
障害の程度別にみると、“利用している”の割合は程度が重いほど多くなっている。

サービスの利用状況



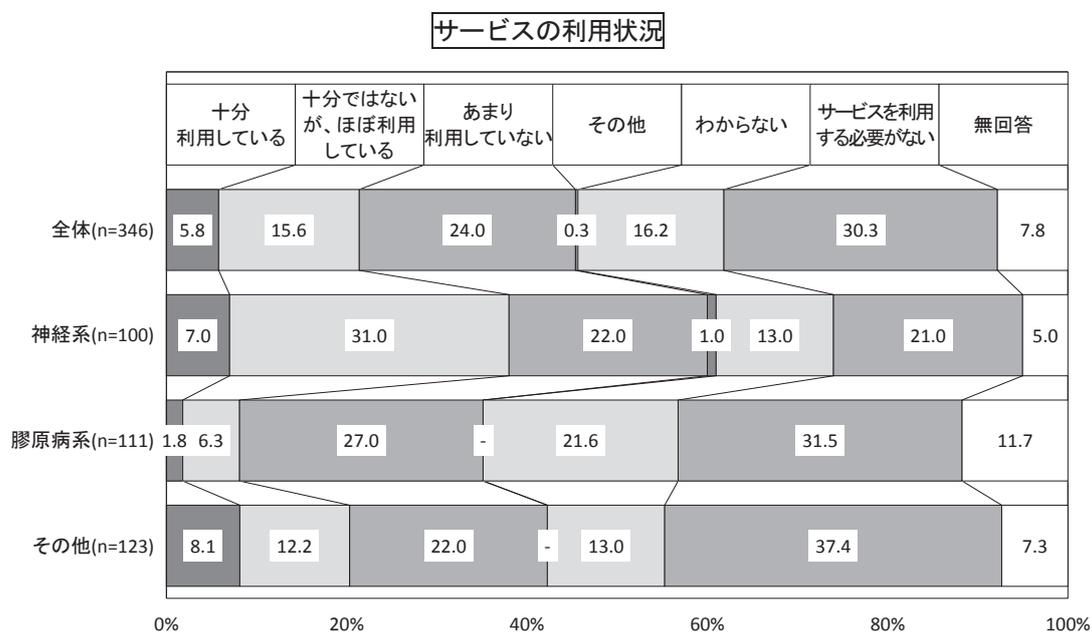
【精神障害者】

診断名別にみると、いずれも“利用している”が、「あまり利用していない」と回答した人より多くなっている。このうち、うつ病・躁うつ病と診断されている人では「サービスを利用する必要がない」が多く23.9%となっている。



【難病患者】

疾病系統別にみると、神経系では“利用している”が、「あまり利用していない」と回答した人より多くなっているのに対し、膠原病系では「あまり利用していない」が、“利用している”より多くなっている。



② 必要だと思うサービスを利用できていない理由（複数回答）

必要だと思うサービスを“あまり利用していない”と回答した人の理由は、「どのようなサービスがあるかわからないから」が身体障害者 42.5%、知的障害者 41.8%、精神障害者 46.2%、難病患者 53.0%と最も多くなっており、次いで「利用の仕方がわからないから」が身体障害者 26.8%、知的障害者 29.1%、精神障害者 33.3%、難病患者 21.7%となっている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=127)	知的障害者 (n=55)	精神障害者 (n=93)	難病患者 (n=83)
自己負担が大きいから	17.3	14.5	14.0	9.6
支給要件に該当しないから	15.7	16.4	10.8	15.7
必要とするサービスがないから	23.6 (3位)	14.5	21.5 (3位)	14.5
どのようなサービスがあるかわからないから	42.5 (1位)	41.8 (1位)	46.2 (1位)	53.0 (1位)
利用の仕方がわからないから	26.8 (2位)	29.1 (2位)	33.3 (2位)	21.7 (2位)
個別のニーズに対応できないから	14.2	18.2 (3位)	20.4	19.3 (3位)
その他	14.2	12.7	12.9	3.6
わからない	6.3	10.9	6.5	9.6
無回答	1.6	1.8	2.2	1.2

※ベース：必要なサービスをあまり利用していないと回答した人

【前回調査との比較】

(単位：%)

区 分		1 位	2 位	3 位
身 体 障 害 者	今 回 (n=127)	どのようなサービスがある かわからないから (42.5)	利用の仕方がわからないから (26.8)	必要とするサービスがない から (23.6)
	前 回 (n=405)	どのようなサービスがある かわからないから (34.1)	利用の仕方がわからないから (26.7)	自己負担が大きいから (23.5)
知 的 障 害 者	今 回 (n=55)	どのようなサービスがある かわからないから (41.8)	利用の仕方がわからないから (29.1)	個別のニーズに対応できな いから (18.2)
	前 回 (n=88)	どのようなサービスがある かわからないから (38.6)	利用の仕方がわからないから (29.5)	支給要件に該当しないから 個別のニーズに対応できな いから (ともに 26.1)
精 神 障 害 者	今 回 (n=93)	どのようなサービスがある かわからないから (46.2)	利用の仕方がわからないから (33.3)	必要とするサービスがない から (21.5)
	前 回 (n=75)	利用の仕方がわからないから (49.3)	どのようなサービスがある かわからないから (41.3)	自己負担が大きいから (21.3)

※ベース：必要なサービスをあまり利用していないと回答した人

(3) 今後も引き続き、あるいは新たに利用したいと思う福祉サービス（複数回答）

今後も引き続き、あるいは新たに利用したいと思う福祉サービスは、身体障害者では「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」が最も多く41.6%、次いで「補装具費の支給・修理」が29.9%となっている。

知的障害者では、「短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護」「移動支援・同行援護」が最も多くともに34.3%、次いで「児童発達支援・放課後等デイサービスなど」が25.8%となっている。

精神障害者では、「就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス」が最も多く19.1%、次いで「ホームヘルプなどの訪問系サービス」が15.9%で続いている。

難病患者では、「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」が最も多く36.1%、次いで「日常生活用具の給付・レンタル」が14.7%となっている。

なお、精神障害者、難病患者では、「利用したいサービスはない」がそれぞれ29.7%、34.4%となっている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	難病患者 (n=346)
ホームヘルプなどの訪問系サービス	19.7 (3位)	10.5	15.9 (3位)	12.7
訪問看護などの医療系サービス	11.1	4.8	9.2	9.5
短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護	14.2	34.3 (1位)	10.6	6.1
障害者地域生活支援センター			11.1	
補装具費の支給・修理	29.9 (2位)	8.5		10.7
日常生活用具の給付・レンタル	19.4	6.0		14.7 (3位)
住宅設備改善費の給付	12.2	4.4		11.0
福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等	41.6 (1位)	24.6		36.1 (1位)
移動支援・同行援護	17.0	34.3 (1位)		9.2
訪問入浴サービス	7.0	2.0		6.1
就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス	5.4	19.8	19.1 (2位)	
グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	4.1	17.7	8.3	3.8
児童発達支援・放課後等デイサービスなど	10.9	25.8 (3位)	1.4	
日中一時支援				6.4
手話通訳者・要約筆記者の派遣	5.2	0.4		1.7
病院や診療所のデイケア			13.1	
介護保険のサービス				10.4
その他	3.8	2.8	7.6	3.2
上記の中に利用したいサービスはない	14.7	11.7	29.7 (1位)	34.4 (2位)
無回答	14.2	14.1	17.5	13.3

(注) 斜線の選択肢は、各調査で質問していない。

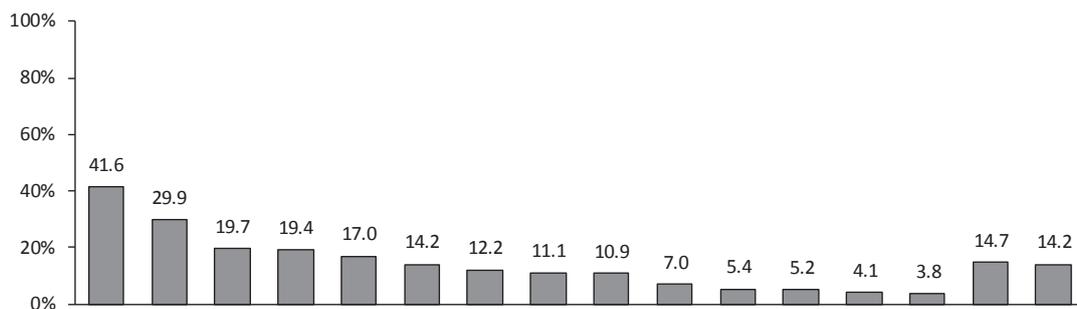
【身体障害者】

障害の程度別にみると、程度の重い人ほどサービスの利用意向が高く、軽度（５・６級）の人ほど「利用したいサービスはない」の割合が高くなっている。

障害の種類別にみると、視覚障害、肢体不自由（上肢、下肢等）、肢体不自由（体幹）、内部障害では「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」、聴覚障害では「補装具費の支給・修理」が最も多くそれぞれ４割～５割を占めている。

年齢３区分別にみると、０～１７歳では「補装具費の支給・修理」、１８～６４歳、６５歳以上では「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」が最も多くそれぞれ約４割～５割を占めている。

利用意向のある福祉サービス



【障害の程度別】	n	7	4	1	5	8	3	6	2	12	9	10	13	11	14	15	16
		福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等	補装具費の支給・修理	ホームヘルプなどの訪問系サービス	日常生活用具の給付・レンタル	移動支援・同行援護	緊急一時保護	住宅設備改善費の給付	訪問看護などの医療系サービス	訪問看護などの医療系サービス	児童発達支援・放課後等デイサービスなど	訪問入浴サービス	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス	手話通訳者・要約筆記者の派遣	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	その他	利用したいサービスはない
0 全体	558	41.6	29.9	19.7	19.4	17.0	14.2	12.2	11.1	10.9	7.0	5.4	5.2	4.1	3.8	14.7	14.2
1 重度（１・２級）	307	54.4	35.8	25.4	26.7	22.8	20.5	18.2	14.3	14.7	11.4	8.1	7.5	5.2	2.3	8.8	12.7
2 中度（３・４級）	173	29.5	19.7	13.3	12.1	9.8	6.4	5.2	8.7	6.4	1.7	2.3	2.3	2.9	6.9	22.0	12.1
3 軽度（５・６級）	63	14.3	30.2	4.8	7.9	9.5	3.2	3.2	1.6	4.8	-	-	3.2	1.6	3.2	27.0	22.2

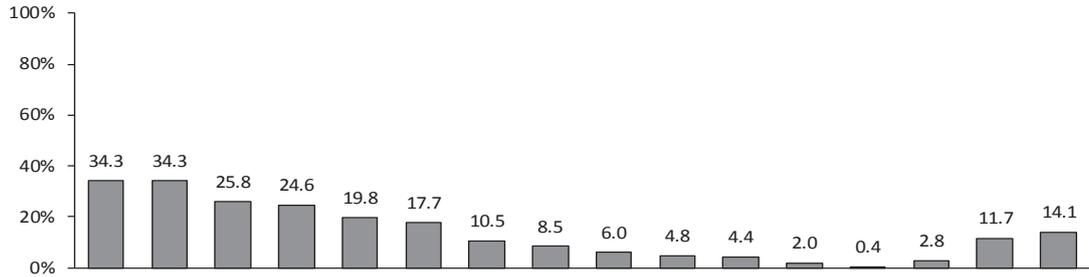
【障害の種類別】		7	4	1	5	8	3	6	2	12	9	10	13	11	14	15	16	
障害の種類	n	福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等	補装具費の支給・修理	ホームヘルプなどの訪問系サービス	日常生活用具の給付・レンタル	移動支援・同行援護	緊急一時保護	住宅設備改善費の給付	訪問看護などの医療系サービス	訪問看護などの医療系サービス	児童発達支援・放課後等デイサービスなど	訪問入浴サービス	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス	手話通訳者・要約筆記者の派遣	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	その他	利用したいサービスはない	無回答
1 視覚障害	89	44.9	30.3	16.9	23.6	25.8	6.7	14.6	10.1	4.5	3.4	2.2	-	-	5.6	16.9	13.5	
2 聴覚障害	92	14.1	43.5	10.9	14.1	8.7	8.7	1.1	5.4	8.7	2.2	1.1	28.3	5.4	4.3	10.9	18.5	
3 平衡機能障害	2	100.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	18	11.1	5.6	22.2	11.1	5.6	11.1	16.7	5.6	5.6	11.1	5.6	-	5.6	11.1	22.2	27.8	
5 肢体不自由（上肢、下肢等）	138	47.8	42.8	30.4	29.0	28.3	26.1	19.6	15.2	18.1	14.5	10.9	1.4	8.7	4.3	14.5	9.4	
6 肢体不自由（体幹）	48	50.0	45.8	29.2	25.0	25.0	31.3	22.9	18.8	16.7	16.7	12.5	2.1	4.2	2.1	10.4	10.4	
7 内部障害	136	54.4	8.8	12.5	11.8	5.9	7.4	8.1	9.6	8.1	0.7	1.5	-	2.2	1.5	17.6	11.0	
8 その他	14	42.9	21.4	14.3	14.3	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	14.3	14.3	-	-	7.1	21.4	21.4	

【年齢別】		7	4	1	5	8	3	6	2	12	9	10	13	11	14	15	16	
年齢	n	福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等	補装具費の支給・修理	ホームヘルプなどの訪問系サービス	日常生活用具の給付・レンタル	移動支援・同行援護	緊急一時保護	住宅設備改善費の給付	訪問看護などの医療系サービス	訪問看護などの医療系サービス	児童発達支援・放課後等デイサービスなど	訪問入浴サービス	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス	手話通訳者・要約筆記者の派遣	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	その他	利用したいサービスはない	無回答
1 0～17歳	144	43.8	54.9	25.7	30.6	33.3	28.5	13.9	13.9	39.6	16.7	10.4	9.0	8.3	4.9	12.5	4.9	
2 18～64歳	186	46.8	28.5	16.7	16.7	13.4	9.1	12.4	7.5	1.6	4.3	7.0	7.0	3.2	3.8	11.8	14.0	
3 65歳以上	214	37.9	16.4	18.7	15.0	9.8	9.3	11.7	12.6	-	3.3	0.9	0.9	2.3	2.8	19.2	19.2	

【知的障害者】

障害の程度別にみると、程度の重い人ほど各項目で利用意向が高くなっている。

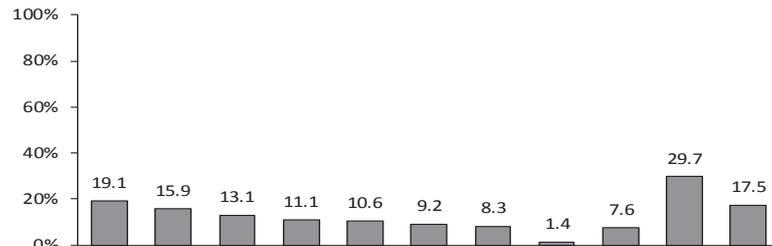
利用意向のある福祉サービス



【障害の程度別】	n	3	8	12	7	10	11	1	4	5	2	6	9	13	14	15	16
		緊急一時保護	短期入所(ショートステイ)・移動支援・同行援護	児童発達支援・放課後等デイサービスなど	福祉タクシー券の交付・自動車燃料費の助成など	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	ホームヘルプなどの訪問系サービス	補装具費の支給・修理	日常生活用具の給付・レンタル	訪問看護などの医療系サービス	住宅設備改善費の給付	訪問入浴サービス	手話通訳者・要約筆記者の派遣	その他	利用したいサービスはない	無回答
0 全体	248	34.3	34.3	25.8	24.6	19.8	17.7	10.5	8.5	6.0	4.8	4.4	2.0	0.4	2.8	11.7	14.1
1 最重度・重度(1・2度)	76	52.6	57.9	31.6	48.7	27.6	17.1	21.1	17.1	13.2	10.5	3.9	6.6	1.3	-	5.3	13.2
2 中度(3度)	65	43.1	35.4	30.8	15.4	16.9	26.2	7.7	4.6	3.1	3.1	7.7	-	-	-	9.2	7.7
3 軽度(4度)	94	18.1	19.1	21.3	12.8	17.0	13.8	4.3	5.3	3.2	2.1	3.2	-	-	6.4	18.1	16.0

【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では「病院や診療所のデイケア」、発達障害と診断されている人では「就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス」の割合が高く、うつ病・躁うつ病と診断されている人では「利用したいサービスはない」が多くなっている。

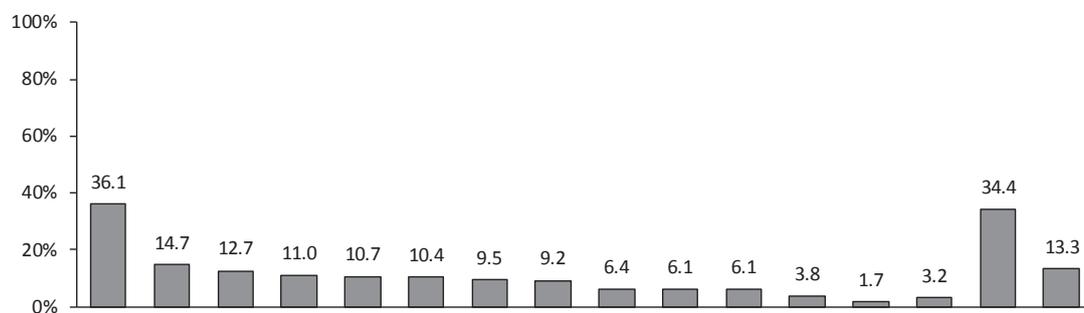


【診断名別】	n	5	1	8	4	3	2	6	7	9	10	11
		就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス	ホームヘルプなどの訪問系サービス	病院や診療所のデイケア	障害者地域生活支援センター	緊急一時保護	訪問看護などの医療系サービス	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	児童発達支援・放課後等デイサービスなど	その他	利用したいサービスはない	無回答
0 全体	434	19.1	15.9	13.1	11.1	10.6	9.2	8.3	1.4	7.6	29.7	17.5
1 統合失調症	97	25.8	20.6	22.7	16.5	7.2	16.5	7.2	-	4.1	16.5	21.6
2 うつ病・躁うつ病	163	9.8	17.2	14.7	4.9	6.1	8.0	1.8	1.2	9.2	44.2	12.3
3 発達障害	70	42.9	10.0	4.3	21.4	20.0	-	21.4	2.9	7.1	18.6	14.3
4 その他	84	13.1	16.7	7.1	8.3	16.7	11.9	11.9	2.4	10.7	31.0	16.7

【難病患者】

難病患者の疾病系統別にみると、神経系ではすべての項目で利用意向が高く、膠原病系では「利用したいサービスはない」が多く4割を占めている。

利用意向のある福祉サービス



【疾病系統別】	n	7	5	1	6	4	13	2	8	11	3	9	10	12	14	15	16
		福祉タクシー券の交付、自動車	日常生活用具の給付・レンタル	ホームヘルプなどの訪問系サービス	住宅設備改善費の給付	補装具費の支給・修理	介護保険のサービス	訪問看護などの医療系サービス	移動支援・同行援護	日中一時支援	短期入所（ショートステイ）・緊急一時保護	訪問入浴サービス	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	手話通訳者・要約筆記者の派遣	その他	利用したいサービスはない	無回答
0 全体	346	36.1	14.7	12.7	11.0	10.7	10.4	9.5	9.2	6.4	6.1	6.1	3.8	1.7	3.2	34.4	13.3
1 神経系	100	52.0	29.0	23.0	21.0	23.0	19.0	18.0	20.0	9.0	14.0	13.0	8.0	3.0	1.0	18.0	9.0
2 膠原病系	111	28.8	7.2	6.3	4.5	6.3	5.4	4.5	2.7	2.7	1.8	0.9	2.7	0.9	3.6	42.3	17.1
3 その他	123	29.3	9.8	10.6	8.1	4.1	6.5	6.5	6.5	6.5	3.3	3.3	0.8	0.8	3.3	43.1	12.2

(4) 最近1年間に利用した福祉サービスと今後の利用意向（複数回答）

最近1年間に利用した福祉サービスと今後の利用意向を比較すると、身体障害者ではいずれの福祉サービスも利用意向が利用経験を上回っており、特にその差が大きいのは、「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」（11.9ポイント差）、「住宅設備改善費の給付」（8.8ポイント差）である。

知的障害者も、「手話通訳者・要約筆記者の派遣」を除く各福祉サービスで利用意向が利用経験を上回っており、特にその差が大きいのは、「短期入所・緊急一時保護」（21.8ポイント差）、「グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス」（13.3ポイント差）である。

精神障害者では、「児童発達支援・放課後等デイサービスなど」を除く各福祉サービスで利用意向が利用経験を上回っており、特にその差が大きいのは、「ホームヘルプなどの訪問系サービス」（7.8ポイント差）、「就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス」（7.6ポイント差）である。

難病患者では、いずれの福祉サービスも利用意向が利用経験を上回っており、特にその差が大きいのは、「福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等」（24.3ポイント差）である。

(単位：%)

区 分		身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	難病患者 (n=346)
ホームヘルプなどの訪問系サービス	利用状況	14.0	5.2	8.1	7.5
	利用意向	19.7	10.5	15.9	12.7
訪問看護などの医療系サービス	利用状況	6.5	1.2	6.7	6.4
	利用意向	11.1	4.8	9.2	9.5
短期入所・緊急一時保護	利用状況	5.9	12.5	4.8	2.3
	利用意向	14.2	34.3	10.6	6.1
障害者地域生活支援センター	利用状況			9.2	
	利用意向			11.1	
補装具費の支給・修理	利用状況	22.2	6.0		6.6
	利用意向	29.9	8.5		10.7
日常生活用具の給付・レンタル	利用状況	11.3	2.4		10.7
	利用意向	19.4	6.0		14.7
住宅設備改善費の給付	利用状況	3.4	—		2.9
	利用意向	12.2	4.4		11.0
福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等	利用状況	29.7	12.5		11.8
	利用意向	41.6	24.6		36.1
移動支援・同行援護	利用状況	10.0	21.8		3.2
	利用意向	17.0	34.3		9.2
訪問入浴サービス	利用状況	2.3	0.4		2.9
	利用意向	7.0	2.0		6.1
日中活動系サービス	利用状況	1.8	14.5	11.5	
	利用意向	5.4	19.8	19.1	
GH・CHなどの居住系サービス	利用状況	1.3	4.4	3.7	1.2
	利用意向	4.1	17.7	8.3	3.8
児童発達支援・放課後等デイサービス	利用状況	7.0	23.4	1.6	
	利用意向	10.9	25.8	1.4	
日中一時支援	利用状況				—
	利用意向				6.4
手話通訳者・要約筆記者の派遣	利用状況	2.9	0.4		0.3
	利用意向	5.2	0.4		1.7
病院や診療所のデイケア	利用状況			10.6	
	利用意向			13.1	
介護保険のサービス	利用状況				7.2
	利用意向				10.4
その他	利用状況	2.7	3.2	7.6	1.2
	利用意向	3.8	2.8	7.6	3.2
利用したことがない・利用したいサービスはない	利用状況	31.5	24.2	49.1	66.8
	利用意向	14.7	11.7	29.7	34.4
無回答	利用状況	11.3	12.1	11.1	7.8
	利用意向	14.2	14.1	17.5	13.3

(注) 斜線の選択肢は、各調査で質問していない。また、ポイント差は小数点第二位を四捨五入した数値で計算している。

(5) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

(情報提供)

- ・一人ひとりにあわせた情報提供
- ・郵送等による定期的な情報提供の実施
- ・窓口でサービス内容を説明できるなど、職員の障害への専門性向上

(利用手続き)

- ・分りやすく説明してほしい。
- ・ネット、電話、FAX、出張サービスなど多様な手続き方法
- ・利用手続きの簡素化
- ・受付窓口の増設
- ・土曜日にも受付を行うこと。

(サービス内容)

- ・ショートステイ施設、介護者のレスパイトのための施設の増設
- ・ホームヘルプサービスの充実
- ・放課後等デイサービスの充実
- ・医療的ケアが可能な施設の増設
- ・ヘルパーの増加、待遇向上。
- ・サービスの質の向上、第三者機関によるサービス評価の実施
- ・その場の状況に合わせ柔軟に対応できるサービス提供の実施
- ・当日でも申し込み可能なサービス提供
- ・タクシー券の交付額増
- ・事業者、支援者の障害理解の促進

(費用負担)

- ・利用料金の軽減
- ・親や本人の所得制限ではなく、障害の程度にあわせた費用負担
- ・補聴器などへの費用支援の改善

【知的障害者】

(情報提供)

- ・情報提供の充実

(利用手続き)

- ・利用手続きの簡素化
- ・分りやすく説明してほしい。

(サービス内容)

- ・施設整備の拡充
- ・必要なサービスが、必要な時に受けられること。
- ・利用できる業者を増やすこと。
- ・事業者、支援者の障害理解の促進
- ・利用しやすい場所に専門の方が常駐していること。
- ・福祉にたずさわる人の意識の改善
- ・ヘルパーの増加
- ・移動支援は、毎回同じヘルパーにする。

(費用負担)

- ・自己負担の軽減
- ・親の所得による負担格差の是正
- ・福祉タクシー券を所得に関係なく給付

【精神障害者】

(情報提供)

- ・ 情報提供の充実
- ・ どこで、どのような、支援を受けられるのか、わかりやすく示された冊子などの配布
- ・ 相談員の専門性の向上
- ・ 休日や夜間の相談窓口設置

(利用手続き)

- ・ 利用手続きの簡素化
- ・ サービス利用について、わかりやすく料金を体系化すること。

(サービス内容)

- ・ グループホームの増設、設備の充実
- ・ 短期入所などのサービス利用の送迎を充実
- ・ 個々の状態に合わせ、必要なサービスを提供すること。
- ・ 重複障害者への支援の充実
- ・ お金がかからない（無料）サービスの拡充
- ・ 就労支援の充実

(費用負担)

- ・ 介護費用の補助
- ・ 自己負担の軽減

【難病患者】

(情報提供)

- ・ 情報提供の充実
- ・ 相談できる窓口の明確化
- ・ 気軽に相談できる身近な相談窓口の設置
- ・ 受けられるサービス内容を、個人に定期的に送付

(利用手続き)

- ・ 利用手続きの簡素化
- ・ 分りやすく説明してほしい。
- ・ インターネットやスマートフォンなどで予約ができるようにしてほしい。

(サービス内容)

- ・ 補装具業者の自宅へ出張サービス
- ・ ホームヘルプサービスの充実
- ・ ホームヘルパーの質の向上
- ・ 個々の病状に応じたサービス

(費用負担)

- ・ 重症度により利用対象の範囲を決めないでほしい。
- ・ 特定の難病のみをサービス対象とするのではなく、だれもが利用できるようにしてほしい。
- ・ 経済的負担の軽減

(6) 今ある福祉サービス以外に必要な福祉サービス・施策（自由回答）（難病患者のみ）

主な意見は、次のとおりである。

（相談支援）

- ・ 家族の心のケア、相談相手が必要
- ・ 病気に理解のある相談支援
- ・ 土日、平日夜間等における訪問による相談支援の実施

（サービス等）

- ・ 外出のための移動支援の充実
- ・ 食事などの支給
- ・ 身障者対象のグループホームの整備

（その他）

- ・ 重度の難病患者などが少人数の集まりで自由に会話する場の整備
- ・ 健常者と交流できる場の整備
- ・ 独居の人には安否確認のできる連絡手段や緊急時に助けを求めやすいシステム